

企業等の連携授業

医療専門課程 臨床工学技士科

授業科目名	臨床実習	授業時数	180時間
実施期間	令和4年6月13日～令和4年9月2日		
実習・演習等の目的及び概要	臨床工学技士として基礎的な実践能力を身につけ、医療における臨床工学の重要性を理解し、かつ患者への対応について臨床現場で学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を自覚する。		
企業等との連携の基本方針	実習指導者は、各指導内容に対する専門的な知識に優れ、医師又は臨床工学技士として5年以上の実務経験及び業績を有し、十分な指導能力を有する者であること。従って、具体的に、実習指導者は経験と実績を備えた教育者でなければならないことから、以下に示す項を満たさなければならない。		
企業等との連携	実習項目は以下の通りとなっている。 1. 血液浄化装置実習 2. 集中治療室(人工呼吸器実習含む)実習 3. 手術室(人工心肺装置実習含む)実習 4. 医療機器管理業務実習 5. 高気圧酸素治療業務実習 6. 心臓ペースングおよび心臓カテーテル関連業務実習		
学修成果の評価方法	到達目標に対してどの程度理解されたかを測るには、行動記録などを基にして実習レポートや、記述試験、口頭試験等による方法がある。評価尺度をどのように設定するか難しい面もあるが、一般的に実習評価を測るには、指導内容の再確認と共に、質問形式による臨床工学技士に対する姿勢や資質を測る事ができる実習レポート方式での評価などを行う。		

実習・演習等計画

日程	実習・演習等の内容	実施場所
実習開始2ヶ月前～	『臨床実習前』(30時間) 病院内での立ち居振る舞い、実習項目、書類(日誌など)の書き方など、臨床実習に関係する事柄と、就職や臨床工学としての理想像に繋がるための考え方や価値観の洗い出しを学ぶ。	学内
実習期間	以下の項目を学ぶ。 1. 血液浄化装置実習 2. 集中治療室(人工呼吸器実習含む)実習 3. 手術室(人工心肺装置実習含む)実習 4. 医療機器管理業務実習 5. 高気圧酸素治療業務実習 6. 心臓ペースングおよび心臓カテーテル関連業務実習	各実習施設
実習終了後2週間以内	日頃の学び(授業等)との繋がり、将来像などに結び付けるための振り返りを行い、臨床実習の学びを日常化する。	学内
連携する企業等	平塚共済病院、湘南藤沢徳洲会病院、昭和大学藤が丘病院、池上総合病院、牧田総合病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、埼玉石心会病院、新座志木中央総合病院、戸田中央総合病院、春日部中央総合病院、筑波学園病院、鎌ヶ谷総合病院、千葉徳洲会病院、セコメディック病院 等	